

輸送動向について（平成25年度上半期）

平成25年10月

1. 輸送概況

上半期は、大型の台風17号、18号の上陸に加え、各地の大雨の影響を強く受けた。また、函館線において貨物列車の脱線事故が発生し、上半期全体では高速貨1,012本、専貨12本が運休した（前年同期間は高速貨798本、専貨24本が運休。）。

荷動きについては、自然災害による輸送障害の影響を強く受けたものの、一部顧客のモーダルシフトの進展等により、上半期全体では前年を上回った。

コンテナ貨物は、積合せ貨物が一部顧客の専用列車の運行開始、紙・パルプが震災により被災した生産拠点の復旧、またエコ関連物資が災害廃棄物輸送の増加により、それぞれ増送となった。一方、自動車部品は国内需要の減少により減送となった。結果、全体では前年比101.7%となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石等が一部顧客の生産体制変更等により増送となり、全体では前年比101.9%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	10,193	10,017	101.7%
車扱	4,057	3,983	101.9%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	770	764	6	100.9%
	化学工業品	976	972	4	100.4%
	化学薬品	684	695	-11	98.4%
	食料工業品	1,630	1,601	29	101.9%
	紙・パルプ	1,531	1,471	60	104.0%
	他工業品	792	833	-41	95.1%
	積合せ貨物	1,096	990	106	110.7%
	自動車部品	446	477	-31	93.6%
	家電・情報機器	229	246	-17	93.2%
	エコ関連物資	235	208	27	113.2%
	その他	1,802	1,761	41	102.4%
	コンテナ計	10,193	10,017	176	101.7%
車扱	石油	2,606	2,611	-5	99.8%
	セメント・石灰石	673	615	58	109.3%
	車両	395	400	-5	98.6%
	その他	384	356	28	107.7%
	車扱計	4,057	3,983	74	101.9%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）